

## 地方新聞記事から見た平成 15 年十勝沖津波

### Articles of the 2003 Tokachi-Oki Earthquake Tsunami Reported on Local Newspapers

# 都司 嘉宣[1]; 行谷 佑一[1]

# Yoshinobu Tsuji[1]; Yuichi Namegaya[1]

[1] 東大地震研

[1] ERI, Univ. Tokyo

平成 15 年 9 月 26 日の早朝、北海道十勝地方の沖合に生じた「十勝沖地震」による津波は、十勝地方、日高地方の海岸、および東北地方の三陸海岸を襲った。この地震、津波に関する新聞記事を、北海道の七種類の地方新聞から収集した。記事を収集した地方新聞は、北海道新聞、東奥日報、岩手日々新聞、岩手日報、河北新報、福島民友新聞、福島民報の 7 社で、それ以南の茨城新聞、千葉日報には独自の記事は現れなかった。もっとも豊富な記事の載っている北海道新聞については、札幌版のほかに、釧路版、函館版まで収集した。各地方新聞について、9 月 30 日の記事までを収集した。今回の津波で、目立った現象として、海震、川をさかのぼる津波、北海道で沿岸被害、三陸海岸の養殖イカダの被害の 4 点を挙げるができる。

〔海震現象〕海震現象は、大津港沖と、釧路漁港沖で体験された。大津港沖合でサケ漁を操業中の漁船で海震が感じられた。「海の上でも大きな横揺れを感じた」男性（60 代）。釧路港沖合で操業中の大船渡を母港とする第 287 福丸は震源から三十六キロの海域でサンマ漁の操業をしていたが、乗組員・富崎勝寿さんは、「二、三分ダダーという下（海底）から突き上げる感じがおり、はじめはエンジンの調子がおかしいのではと思った」と海震現象を表現している。

〔北海道十勝川の津波遡上〕

津波の河川遡上は、北海道十勝川と岩手県の閉伊川で起きた。十勝川をさかのぼった津波は河口から少なくとも 11 km 上流まで達していたことが北海道開発局の水位観測所のデータからわかった。河口から 11 km の浦幌町愛牛で 26 日 5 時 50 分、47 センチの水位上昇が観測された。河口から 9 キロの旅来（たびこらい）でも同時刻に 83 センチ、河口から 3 キロの大津でも同 5 時半に 118 センチの上昇を記録した。十勝川をさかのぼる津波は航空自衛隊のヘリコプターから撮影され、波状段波を形成して川を遡上する津波の様子がビデオ映像に納められた。

〔岩手県宮古市閉伊川での津波遡上〕

宮古市の閉伊川河口付近は、二十六日午前 5 時四十五分頃第一波と見られる津波が来襲し、上流に向かって逆流現象が起きた。河口付近にある宮古大橋の耐震工事のため、業者が上流の同市向町の宮古橋に設置した潮位計は、5 時 53 分頃水位が 70 センチ上昇。6 時すぎには一転、下流に向かって激しく流れ出し、六時五十分ごろには水が干上がって川底が現れた。しかし 30 秒後にはふたたび逆流を始めた。宮古漁協が設置しているサケの川留め漁の網が津波で川が逆流した影響で、幅 100 メートルにわたって倒壊した。

〔北海道での津波被害〕津波の波高は襟裳岬付近で約 4 メートルに達し、十勝・釧路・根室および日高地方の海岸ですこしずつの被害を生じた。

浜中漁協では海中に設置した籠等やウニの種苗が津波の被害にあった。

釧路町仙鳳趾漁港で無人のカキ漁船 2 隻が転覆。構内に油が流出した。

十勝管内での岸壁の亀裂などで漁港被害は 13 件。漁船の転覆流出が 11 隻、ウニ養殖施設など施設被害が 5 件あった。

広尾漁港では、漁業者は漁船を沖だし。沖出しが終わったこと津波が来襲し、同港の潮位は通常より 2.5m 上昇し、漁業者が乗ってきた軽トラックや乗用車十数台が海に飲み込まれた。大津港では、約二十隻の漁船、岸壁の上までせり上がってきた津波で傾き台座からはずれた。浦河では磯舟三隻が転覆。函館では、津波の影響で水産物地方卸売市場前の道路のマンホールのふたが海水の逆流で持ち上がり、周囲にゴミが散乱した。

〔東北地方での津波によるホタテ・カキの養殖イカダの被害〕

東北地方で津波による浸水高さが 1 m を越えた場所はほとんどなかったが、三陸海岸でのホタテやカキの養殖イカダの被害が大きかった。宮古市では宮古湾の牡蠣養殖施設 300 台の半分が壊滅（宮古漁協）。山田町大沢の浜川目では、特産の一粒カキ本格出荷を前にカキ、ホタテの養殖棚が次々に損壊。養殖棚は通常約 100 メートルの延縄が約 20 メートル間隔で並ぶが津波で押し流された。カキやホタテの養殖棚約四十台に被害が出た。大船渡湾では赤崎漁協のホタテやカキのはえなわ式養殖設備八十台が壊滅。ロープが切れたりブロックが動くなどして団子状に絡まり漂流した。被害額は四千万円以上。陸前高田市では広田湾奥の小友町周辺の養殖施設に被害が集中した。小友漁業協同組合員所有のカキ、ホタテの養殖施設約 480 台のうち 7 割程度に影響が出た。